

おにぎりのバトン

川又 ひまり

私が大好きなものは、おにぎりです。ほかほかでつやつやのお米。せつみよ^うな塩かけん。そして、こうばしいのりのおり。中身は決まっ^てしゃけ。これが、わたしの大好物です。

私の一日は、このおにぎりを食べることから始まります。このおにぎりを食べると、学校に行く前の私のくもり空な心も、ぱあ^っ

と晴れわたるようになります。私にとつて、このおにぎりはなくてはならない「あいぼう」です。

このすいきなおにぎりを作^ってくれるのはお母さんです。お母さんはたきたてのあつあつのごはんをぎゅ^っぎゅ^っとにぎります。お母さんは簡単そうにこのおにぎりを作^ってくれます。まるでまほうつかいのようです。

ある日、私は、お母さんに、「どうやったらおいしいおにぎりになるの？」

手も熱くないの？
と聞いてみました。するとお母さんは、
「ひまりの喜ぶ顔、おいしそうに食べる顔を
想ぞうしてにぎるのよ。熱さはたくさん作っ
ているから、なれちゃったよ。」
と笑いながら話してくれました。私は、毎朝
お母さんの愛情をたっぷりもらっていること
に気づきました。そう思っ、て食べるお母さん
のおにぎりは、いつもより甘くて、あたたか
くて、おいしく感じました。

そこで、私も、そんなおにぎりを作っ、て、
家族に食べてもらいたいと考えました。お母
さんが作っ、ている様子をメモに取り、それを
見ながら作っ、てみました。

まず、お米をたきます。たっぷりの水で時
間をかけすぎないように研ぎます。最低30分
水にひたし、時間になっ、たら炊飯器のスイツ
チをおします。たきあがっ、たご飯は、できる
だけ早く、ご飯をつぶさないようにふん
わりほぐします。次に、手に水をつけ、塩を

ふりかけてご飯を置きます。真ん中にしやけを乗せてきれいな三角形になるようににぎります。

出来上がった私のおにぎりは、お母さんのようなきれいな三角形ではなく、少し不格好なおにぎりでした。はずかしかったけど、家族に食べてもらいました。おいしいと言ってもらえるかドキドキしました。すると、みんなは笑顔で

「おいしいよ。ありがとう。」

と言ってくれました。私は、うれしくなりました。大事なのは、きれいににぎることだけではなく愛情をこめて作ることだと気づきました。

私が、大人になって、お母さんになったら、このおにぎりを私の大切な子供ににぎってあげようと思います。そしてその子供が大人になつた時に子供におにぎりを作ってあげてほしいと思います。そんなおにぎりのバトンができたなら、幸せだなあと思いました。